第二回ベイズ統計学・機械学習研究会

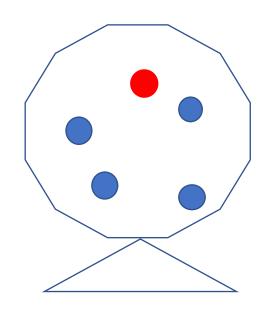
~確率とは・確率の基礎~

目次

- ・確率とは何か
- ・確率で使う用語
- AとBが同時に起こる"積事象"
- AまたはBが起こる"和事象"
- 「ある場合」以外が起こる"余事象"
- 条件付確率

確率とは

- 「確率」=「ある事の起こりやすさ」
 - 「ある事の起こりやすさ」を数字で表そうとしたもの



例題:5つある玉の中から一つだけある 赤い玉を引く確率は?

P(X = 赤玉) = 1/5

確率で使う用語

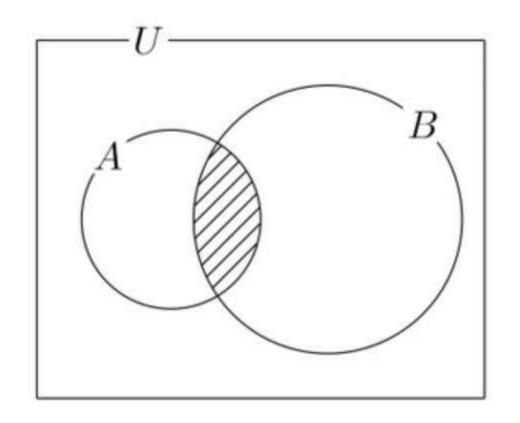
- 確率変数
 - ある値を取る確率が存在する変数
 - さいころの出目
 - コインの裏表
- 事象
 - ・確率を知りたい事柄
- 確率

例:さいころで3が出る確率

$$P(X = 3) = 1/6$$

AとBが同時に起こる"積事象"

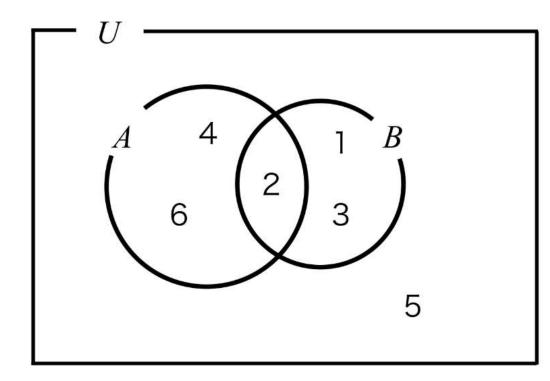
• 事象Aと事象Bがともに起こるという事象を積事象と言う



- さいころを1回振る時、偶数が出るという事象をA、3以下の目が出るという事象をBとする
- 事象Aと事象Bがともに起こる確率は?

偶数でかつ3以下の目はベン 図より2だけなので

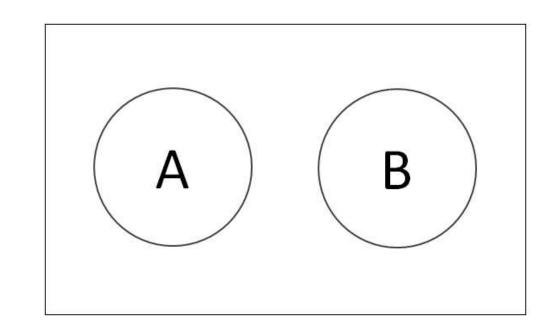
 $P(A \cap B) = 1/6$



AとBが独立な時の積事象

事象Aと事象Bが独立(一方の確率が もう一方の確率に影響しないこと) なときの積事象は

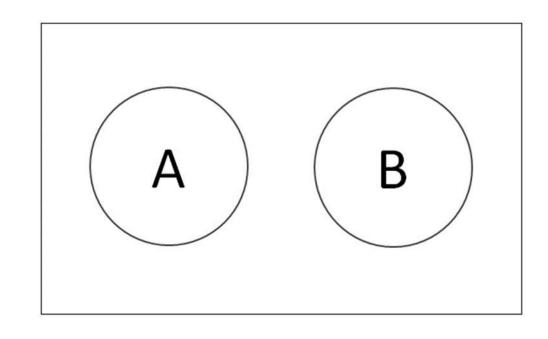
$$P(A \cap B) = P(A)P(B)$$



- さいころを振り3の目が出ることを事象A、コインを投げて表が出ることを事象Bとする。
- 事象Aと事象Bがともに起こる確率は?

$$P(A \cap B) = P(A)P(B)$$

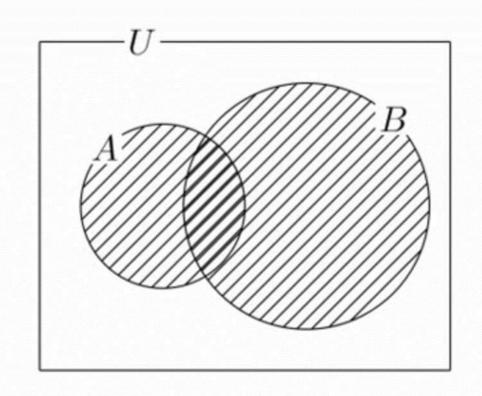
=1/6*1/2
=1/12



AまたはBが起こる"和事象"

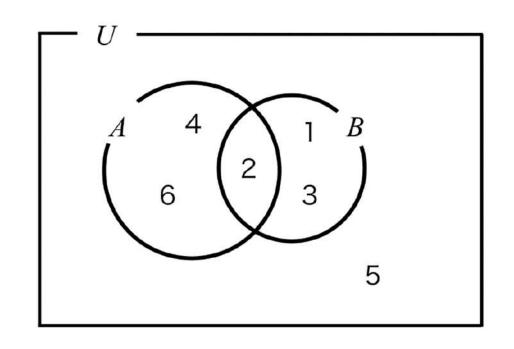
事象Aまたは事象Bが起こる事象 を和事象と言う。

 $P(A \cup B)=P(A)+P(B)-P(A \cap B)$



- さいころを1回振る時、偶数が出るという事象をA、3以下の目が出るという事象をBとする
- ・事象Aまたは事象Bが起こる確率は?

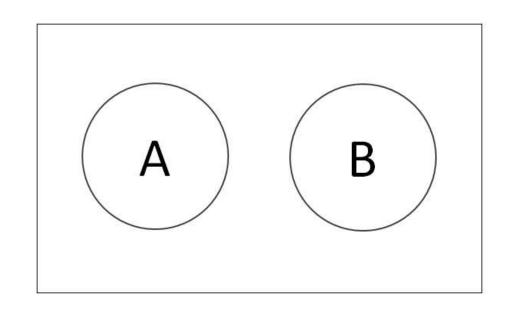
事象Aの確率は3/6 事象Bの確率は3/6 P(A∩B)は 1/6なので P(A∪B)=P(A)+P(B)-P(A∩B)より P(A∪B)=(3/6)+(3/6)-(1/6) =5/6



AとBが独立な時の和事象

事象Aと事象Bが独立(一方の確率がもう一方の確率に影響しないこと)なときの和事象は

$$P(A \cup B)=P(A)+P(B)$$

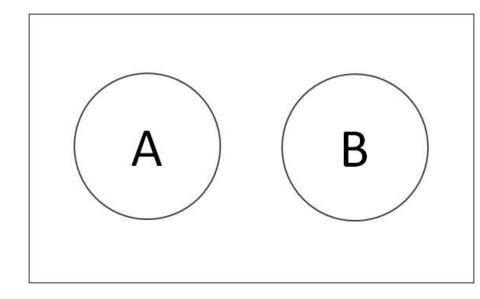


- さいころを振り3の目が出ることを 事象A、コインを投げて表が出ることを とを事象Bとする。
- 事象Aまたは事象Bが起こる確率は?

さいころで3が出る確率は 1/6 コインの表が出る確率は 1/2 なので

$$P(A \cup B)=P(A)+P(B)$$

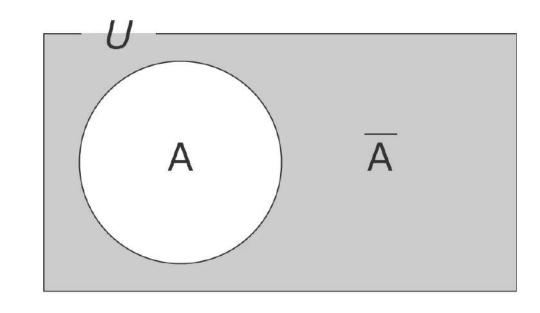
=1/6+1/2
=2/3



「ある場合」以外が起こる"余事象"

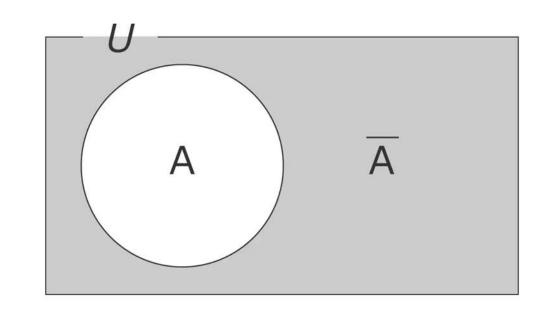
「ある場合」以外の事象のこと

$$P(\overline{A}) = 1 - P(A)$$



- さいころを振って5が出ることを事象Aとする
- さいころを振って5以外が出る確率は?

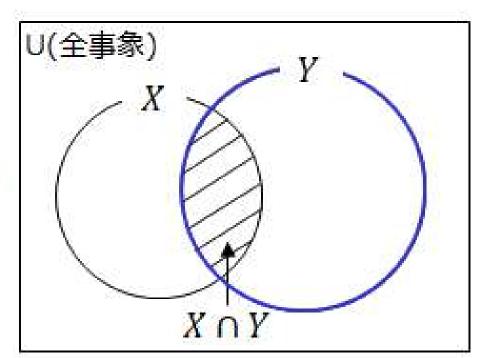
さいころで5が出る確率は1/6なのでP(5以外)=1-(1/6)=5/6



条件付確率

- 条件付確率
 - ある事象が起こるという条件のもとで、別のある事象が起こる確率

$$P(X|Y) = \frac{P(X \cap Y)}{P(Y)}$$



サイコロを二回振って出た目の和が9以上になる確率は? ただ し一回目に出た目は5とする。

